

日本ユネスコ国内委員会の活動に関する報告(人間と生物圏(MAB)計画分科会)
(平成 29 年4月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日)

※所属・職名等は当時のもの

第 29 回人間と生物圏(MAB)計画国際調整理事会について

平成 29 年 6 月 12 日～15 日、パリ(フランス)で第 29 回人間と生物圏(MAB)計画国際調整理事会が開催され、本会議には、我が国からは、磯田博子 MAB 計画分科会主査、秦文部科学省国際統括官付国際統括官補佐外 8 名が出席しました。



2013 年の第 25 回 MAB 計画国際調整理事会で承認された戦略の実施状況の報告や、2016 年の第 28 回 MAB 計画国際調整理事会で採択されたリマ行動計画の施行状況に関する報告書の様式案について議論が行われました。さらに、新規ユネスコエコパーク及び拡張・修正ユネスコエコパークの登録採択が行われ、我が国から推薦していた「祖母・傾・大崩」と「みなかみ」の登録が決定しました。

子ども霞ヶ関見学デー

平成 29 年 8 月 2 日(水)、3 日(木)の二日間にわたり、子ども霞ヶ関見学デーが開催され、日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)がブース出展をし、登録地域の木材等を使用したクラフト体験や、ユネスコエコパークの登録地域のパネル展示及びパンフレットの配布を行いました。



第5回日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)大会

平成29年8月7日にユネスコエコパークに登録された地域等のネットワークである日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)が「第5回日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)大会」を開催し、小林文部科学省国際統括官付国際戦略企画官が「ユネスコエコパークの今後の活動への期待」をテーマに講演を行いました。

本講演では、ユネスコエコパーク事業に関する最近の国際的な動向について共有されるとともに、ユネスコエコパークへの登録後は、各地域において世界ネットワークの一員としての活動が求められ、リマ行動計画の履行や定期的な自己点検が重要であることが説明されました。

また、本大会において、公益財団法人イオン環境財団とJBRNのパートナーシップ協定の調印式が行われ、ユネスコエコパークの活動の発展に両者連携して取り組むこととなりました。



「祖母・傾・大崩」ユネスコエコパーク登録記念式典

平成29年6月にフランス・パリで開催されたユネスコMAB計画国際調整理事会において、祖母・傾・大崩ユネスコエコパークの登録が決定されたことを受け、平成29年9月9日(土)、大分県佐伯市にて、登録記念式典が開催されました。同式典では、礒田博子 MAB計画分科会主査からお祝いの挨拶があり、登録認定書が授与されました。また、ロゴマークの発表や地域の取組発表などが行われたほか、松田裕之 MAB計画分科会委員による登録記念講演も行われました。



「みなかみ」ユネスコエコパーク登録記念式典

平成29年10月3日(火)に、群馬県みなかみ町において、みなかみユネスコエコパークの登録記念式典が開催されました。

同式典では、礪田博子MAB計画分科会主査からお祝いのスピーチが行われ、登録認定証が授与されたほか、地域で活動する各団体の取組発表などが行われました。



その他近年開催された国際会議等一覧

開催日程 (開催地)	会議等名称	主な内容	我が国出席者
28.3.14-17 (ペルー・リマ)	第4回生物圏保存地域 (BR)世界大会	「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に関わる諸問題、特に持続可能な開発のための教育、経済から見た環境保全の実現可能性、生物多様性、自然資源の保護と利活用について、また、BRの将来像について議論が行われた。	岩熊敏夫 MAB 計画分科会調査委員、松田裕之 MAB 計画分科会調査委員、文部科学省担当官ほか
28.3.18-19 (ペルー・リマ)	第28回人間と生物圏 (MAB)計画国際調整理事会	我が国から推薦していた「白山」(富山県・石川県・福井県・岐阜県)、「大台ヶ原・大峯山・大杉谷」(奈良県、三重県)、「屋久島・口永良部島」(鹿児島県)の拡張登録が決定された。また、今後10年間の生物圏保存地域の役割について策定したリマ行動計画の採択等が行われた。	岩熊敏夫 MAB 計画分科会調査委員、野田孝夫文部科学省国際統括官付ユネスコ協力官ほか
28.6.2-4 (インドネシア・ワカトビ)	国際ワークショップ「ユネスコエコパークのためのリマ行動計画の実行における地方自治体の役割」【J-FITを活用してユネスコジャカルタ事務所が開催】	3月に策定されたリマ行動計画のフォローアップとして、MAB計画における地方自治体の役割を促進することを目的に開催され、我が国からは地方自治体を中心となって活動している日本のユネスコエコパークについて報告した。また、国際調整理事会に対するワカトビ勧告が作成された。	中村真介 日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)／白山ユネスコエコパーク協議会

28.7.21-24 (インドネシア・バリ)	2030 アジェンダに向けた現地のユネスコ及びネットワーク間の連携の促進(第3回アジア太平洋ユネスコエコパークネットワーク戦略会議併催)【J-FIT を活用してユネスコジャカルタ事務所が開催】	2030 アジェンダの履行を見据えながら、ユネスコの科学事業やユネスコの地域事務所間の連携を深めるために開催され、我が国からは第14回生物圏保存地域東アジア・ネットワーク会議の開催や地方自治体を中心とした日本ユネスコエコパークネットワークの活動について報告した。	中村真介 日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)／白山ユネスコエコパーク協議会ほか
28.10.27-29 (石川県・七尾市)	第1回アジア生物文化多様性国際会議	石川県七尾市和倉温泉にて、ユネスコ、生物多様性条約事務局、国連大学、石川県、七尾市の共催で開催された。フラビア・シュレーゲルユネスコ事務局長補による基調講演が行われ、分科会ではユネスコエコパークセッション「地域の人びとのユネスコエコパークへの参画」が組まれた。会議の締めくくりには、「石川宣言」が採択され、生物と文化多様性の一体的な保全と活用が、持続可能な社会の構築のために重要であると確認された。	文部科学省ユネスコ協力官本岡寛子
29.5.16-17 (インドネシア・ジャカルタ)	第10回生物圏保存地域東南アジア・ネットワーク会議(SeaBRnet)【J-FIT を活用してユネスコジャカルタ事務所が開催】	ユネスコエコパーク関係者のほか、IHP や IGGP の関係者も集まり、「環境と水におけるユネスコ事業」というテーマで開催された。UGG や IHP などのネットワークやユネスコの他事業との連携も含めたユネスコエコパークの推進について検討が進められた。	飯田義彦氏(国連大学研究員／白山ユネスコエコパーク事務局アドバイザー)
29.9.3-14 (中国・韓国)	第7回東アジアユネスコエコパークネットワーク(EABRN)ワークショップ	9月3日～9日に、中国科学院植物研究所にてワークショップ「ビッグデータ時代の生物多様性情報学」が開催され、11日～14日には、韓国にて Gwangneung Forest ユネスコエコパーク及び Soraksan ユネスコエコパークの視察が行われた。	飯田義彦氏(国連大学研究員／白山ユネスコエコパーク事務局アドバイザー)
29.9.18-23 (イタリア)	MAB Youth Forum 2017	ユネスコエコパーク内の18～30歳の青少年を対象として、自分たちのユネスコエコパークでの活動やSDGsとユネスコエコパークについて考えるセッションやワークショップが行われた。	白山ユネスコエコパーク:近藤佳奈氏(石徹白地区地域づくり協議会)、アイダ・マアドヴァ氏(金沢大学)

国内委員会会議

年月日	会 議	主 な 内 容
28.12.22	第 37 回 MAB 計画分科会	・平成29年ユネスコエコパーク申請について
29.3.21	MAB 計画分科会懇談会	・平成29年ユネスコエコパーク申請について

その他近年開催された国内関連会議・イベント等

年月日	会議・イベント等 名	主 な 内 容
28.10.24-29	ユネスコエコパーク現地実務者対象現地研修会	白山ユネスコエコパークにて、アジアのユネスコエコパーク現地実務者を対象とした研修会が開催された。平成 28 年度政府開発援助ユネスコ活動費補助金(文部科学省)の補助を受け、アジア6か国(ブータン、インドネシア、カザフスタン、モンゴル、タイ、ベトナム)から招へいた。
29.12.3	第8回ユネスコスクール全国大会	金沢大学において文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会の主催で開催され、白山ユネスコエコパーク、志賀高原ユネスコエコパークがブース出展等を行った。
29.1.22	「白山ユネスコエコパーク」スタディセミナー	富山県南砺市において南砺ユネスコ協会の主催で開催され、白山ユネスコエコパークについての講演等が行われた。
29.2.18	第1回信州ESDコンソーシアム成果発表及び交流会	地域の6校がユネスコエコパークでの取組について発表を行った。
29.2.18	白山ユネスコエコパーク拡張登録記念 市民シンポジウム	岐阜県郡上市においてユネスコ白山郡上エコパーク研究会の主催で開催され、公益財団法人日本自然保護協会の朱宮丈晴氏による基調講演や郡上市での事例発表等が行われた。
29.7.7	白山開山 1300 年記念「山の日」シンポジウム in 郡上	岐阜県郡上市において岐阜県・郡上市主催で開催され、白山ユネスコエコパークについての講演等が行われた。一般参加者や高校生など、約 700 名の参加があった。
29.9.26	第5回生物多様性日本アワード受賞式	国連大学にて、公益財団法人イオン環境財団主催で本アワードの授賞式が開催され、あわせてユネスコエコパークのパネル展示が行われた。
29.10.27	東京大学 GPSS-GLI 企画シンポジウム「ユネスコエコパーク：環境保全を通じた地域の持続的発展」	東京大学柏キャンパス一般公開において「ユネスコエコパーク：環境保全を通じた地域の持続的発展」について講演が行われ、白山、祖母・傾・大崩、みなかみ、南アルプスユネスコエコパーク及びイオン環境財団が講演を行った。
29.11.23	筑波大学自然保護寄附講座国際シンポジウム「地域に根差した自然保護 Local	筑波大学東京キャンパスにおいて「地域に根差した自然保護 Local Communities and Nature Conservation」についてシンポジウムが開かれ、綾

	Communities and Nature Conservation]	ユネスコエコパークが講演を行った。
29.11.23	白山ユネスコエコパーク拡張登録記念、白山開山 1300 年記念 荘白川「白山ユネスコエコパーク」講演会	岐阜県高山市において高山市・白川村の主催で開催され、白山ユネスコエコパークについての講演や両地域での活動発表等が行われた。